



プロジェクト名称 【参加人数：7名】

豊洲キャンパス自転車シェアリング

活動概要・目的 【活動期間：2011年6月7日～2012年3月31日】

自転車を自転車通学以外の学生にも開放し、学生が積極的に移動できる環境を整える。
 豊洲キャンパスにおいて、一時的に自転車を必要とする学生に対して自転車の貸出を行う。
 自転車はリサイクル自転車を購入し、有志学生メンバーが管理する。
 無人で自転車の貸し借りが行える貸出システムを構築する。

年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
6月	シェアリングルール検討	豊洲キャンパス	貸出ルールの検討し、システム化計画を策定した。
6月	打ち合わせ等	豊洲キャンパス	関係部署と運営方法、手続き等について打ち合わせた。
6月	法規・保険調査検討	豊洲キャンパス	自転車シェアリングに関わる法規保険について検討した。
7月	貸出システム用部品購入	豊洲キャンパス	高額で購入できない部品の中古品を探し、購入した。
8月	キーボックス設計	豊洲キャンパス	自転車用キーボックスを設計し、工場に依頼し製作した。
9月	キーボックス筐体設計・製作	豊洲キャンパス	キーボックスを収納する筐体を設計し、加工した。
10月	貸出システムDB構築	豊洲キャンパス	貸出ルールの決定から、データベースを構築した。
11月	キーボックス電装品設計製作	豊洲キャンパス	キーボックス用センサ、電気錠駆動回路を設計製作した。
12月	貸出システム組み立て	豊洲キャンパス	キーボックス等の各部品を接続、組み立てを行った。
1月	貸出システムテスト開始	豊洲キャンパス	メンバー内でキーの貸し借りをを行い、デバッグを行った。
2月	自転車整備	豊洲キャンパス	防犯登録の書き換え、TSマーク加入を行った。



プロジェクトの成果・結果・達成度・関係者からの評価

学内の放置自転車2台、寄付1台、新車3台、計6台を管理し、一部でシェアリングを行っている。

自転車用鍵の貸し出しシステムを設計・製作した。

現在、プロジェクトメンバーが所属する研究室内で評価試験を行っている。

当初の予定未達成の部分が多い。

受賞・メディア取材(新聞、広報誌、TV等)

特になし

プロジェクト活動を振り返って(チームとして成長したこと、感動や印象に残っていること、反省、今後の展望について)

当初の計画に加えて、学内で発生した放置自転車を転用することを検討した。

しかし、法的に難しく、それをクリアするまで時間を要した。

方針決定の判断に未熟な部分が多く、見切りをつけられずにズルズルと先延ばしにしてしまい、遅れの要因のひとつになってしまった。

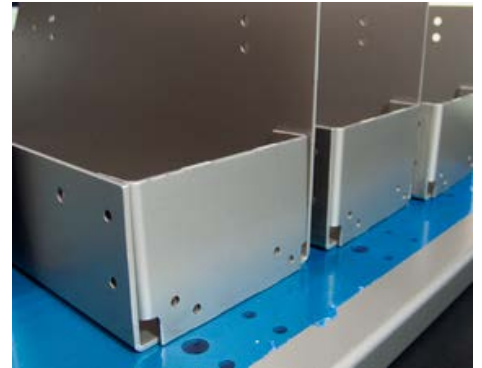
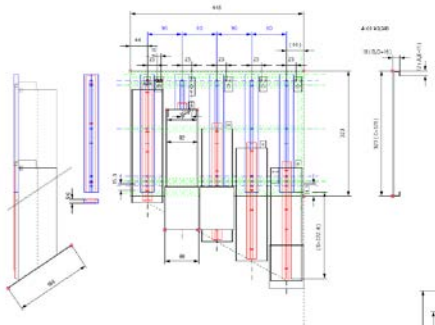
自転車の利用はメンバーの所属する研究室内での共用に留めている。

今後は対象となる研究室を増やし、多くの学生に参加してもらいたい。



貸出端末の操作画面

プロジェクト活動写真



3DADを用いて設計中のキーボックス(左・中)と製品(右)



組み立て後、テスト中の貸出端末



自転車を整備中のメンバー